

カメラマン: 山田新治郎(表紙、並びに当ページ)



の化粧煉瓦は当時の焼成技術、原 料の違い等によりその赤色が微妙 にバラついている。あえてその色差を 再現するために着工前から7年間に わたって試行錯誤を続け、大量生産 を想定したテストも実施した。化粧煉 瓦の試作見本は15,000枚を超えた

史を綴り始めている。 構造煉瓦の表面に貼られた創建時

和感は払拭されたが、目を凝らすと境界 は分かる。およそ百年の時を超えて新旧 古くて新しい東京のシンボルが未来への歴 その境目も判然としなくなるに違いない。 の煉瓦が整然と並ぶ。時の流れとともに、 の焼きムラを表現して見せた。全体的な違

東京駅丸の内駅舎

東京都千代田区丸の内

型に姿を変えた。 失。その復旧工事で三階建てから二階建 の東京大空襲により屋根や天井部分を焼 風だった。しかし、一九四五(昭和二十)年 後の日本の勃興を象徴するかのような威 瓦の洋風建築で、日露戦争に勝利した直 ム)を擁する三階建て。和洋折衷の設計計 の頂点にあった辰野金吾だ。南北約三三 てとなり、ドー 画もあったが、辰野が採用したのは赤煉 五以、中央部とその南北に八角広室(ド 丸の内駅舎の設計は、当時すでに建築界 東京駅の開業は一九一四(大正三)年、 ム型の丸屋根はピラミッド

調高い美しさを取り戻した。 化も施され、二〇一二年に創建当時の格 復原工事は二〇〇七年五月に着工、免震 の重要文化財にも指定されたこの駅舎の 駅舎の再生・復原計画が起案される。国 その時から半世紀余り、東京駅丸の内 外壁復原では、一、二階部に残存する

ぜ合わせることで、大正時代の煉瓦タイル には三つの条件で焼成した化粧煉瓦を混 料を変えながら試作を繰り返し、最終的 せるかが課題となった。焼成条件や原材 枚の化粧煉瓦との風合いをいかに調和さ 化粧煉瓦と、三階部に新調する約四〇万

03 | ACe 2020.03